

新舞踊連盟20周年記念公演を終えて

10月17日土曜日、20周年記念舞踊「花の会」を大盛況に終演することが出来ました。当日は朝から小雨が降り足元の悪い中、開場前に多くの方々が来場して下さり、先着100名様限定の紅白饅頭と手作りマスク(子ども会員の祖母の手作り)があったと言う間に無くなりました。良かった!・・・開演時には少なくとも100名のお客様に観ていただけるとは思っておりましたが、倍以上のお客様が席をうめて下さいました。演目が進むにつれて立ち見が出るという嬉しい悲鳴が・・・何と幸せな事でしょう・・・



さて舞台では、ご祝儀舞の「寿松竹梅」から始まり、童謡舞踊・新舞踊・古典小曲と全51曲を披露させて頂きました。子ども達は大人に負けじと、可愛いく、そして色っぽい踊りを披露しておりました。舞台に向けての厳しい練習に涙を流しながらも頑張る意気込みが、当日の舞台をより良いものに仕上げたと確信しております。また、大人達も膝や腰の治療を続けながら、痛みすら忘れ、重い鬘や本衣装を着けて舞台を努めている姿は何とも素晴らしく誇らしく思えました。

そして、舞台裏ではメイク・着付け担当の15人のスタッフが手を休めなく動かして、踊り手に舞台化粧をそして衣装・鬘を着け、一人また一人と舞台へ送り出していきます。日ごろは小・中・高校生、そして普通の主婦お家に帰るとおばあちゃんが、舞台に立つと、若武者に娘に芸者にと変身していくのです。

当日はサプライズとして、私の友人のプロ歌手に生歌を披露していただき、子どもが踊りました。会場の方々は勿論、会員も知らなかった事ですから、驚くやら感激するやら、大好評を頂きました。

今回は20周年記念という事もあり、集客面でも100名以上の方々に事前にハガキやお電話などで舞台のお誘いを重ねておりました。仮プロも800枚作成し、各公民館や会員の足で配布し、本プログラムも600部作成いたしました。足らずに急遽受付担当がプログラムをコピーして受付に置くなど、会員一人一人が協力し合い、精一杯力を出し切った20周年の舞台となりました。

これも偏に皆様の温かいご協力のお蔭と感謝申し上げます。

狭山市新舞踊連盟 会長 藤寿紫峰



満開の桜の下で

第17回 桜まつり実行(委) 始動!



桜まつりの第1回実行委員会が11月20日 中央公民館で開催され、4月2・3日(土・日) 満開の桜の下での実施を目指しての活動がスタートした。共催の狭山市観光協会と協議、出演団体も多く、一般参加募集は無しと決めました。

今年こそ2日間、満開の桜の下での開催を期待し、準備を進めて行く。

第17回 桜まつり実行委員会 主要役員

実行委員長	中村伶華
副実行委員長	指田真彦(観光協会)
	岡野敏伊
会計	五十嵐牧子
事務局	高橋登希子

